

## 主な活動報告

日付	項目
7月4日	長崎県立大学佐世保校で合同インターンシップ説明会が開催されました。
8月17日	バス見学ツアーで西海陶器様、スチームシップ様の2社を訪問しました。
9月27日	学生とNぴか企業との交流会を開催しました。

## 今後の主な活動予定

日付	項目
10月20日	九州・沖縄COC/COC+合同シンポジウムINながさき2018を開催します。
10月25日	第7回学生と企業との交流会を開催します。
10月26日	縁JOYプロジェクト（学生主体の団体）による満月BARが開催されます。
12月8日	NAGASAKIしごとみらい博が開催されます。

## メイントピックス

- イベント報告 学生と企業との交流会in工学部
- わが校の名物教授 長崎県立大学 経営学部 村上則夫教授
- 新聞で見つけたトリビア 今回は長崎大学からの紹介です
- “いちおし”お食事処紹介 今回は長崎純心大学からの紹介です
- 長崎よかところ、後輩来たれ！ 長崎短期大学卒業 金納綾香さん
- COC+コーディネーターの独り言 「地域活動の体験で単位が取れる」

編集室より：本ニュースレターは、長崎大学、長崎国際大学、長崎県立大学、長崎純心大学、長崎短期大学などが産官学連携により進めている地方創生推進事業（COC+）をさまざまな視点から紹介していくものです。ご意見やご質問は [antoku@nagasaki-u.ac.jp](mailto:antoku@nagasaki-u.ac.jp) までお寄せください。投稿もお待ち申し上げます。次号の発行は平成31年1月を予定しています。

# イベント開催報告

## 6/25学生と企業との交流会in工学部

### <「学生と企業との交流会in工学部」を開催しました>

**参加企業** ソニーセミコンダクタマニファクチュアリング、長崎キヤノン、MHPSコントロールシステムズ、協和機電工業、滲透工業、長崎船舶装備、NDKCOM、扇精光グループ

6月25日（月）に「学生と企業との交流会in工学部」を開催しました。今回、初めて工学部内での開催ということもあり、どんな雰囲気になるのかと私たちもドキドキしていましたが、工学部生を中心に26名に参加していただき、今回も身近で楽しく、学生と企業の方と触れ合い、交流していただきました。

1年生から積極的に交流会に参加してくれる学生もいて、企業さん達も刺激を受けていたようです。今回参加していただいた学生の方はもちろん、次回こそはという学生の方もぜひご参加ください。

以下、アンケート抜粋です。

#### 【学生の感想】

- 企業とはどのようなものなのか理解できた。英語の必要性などを教えていただいた。
- 会社について断片的な知識しか持てていなかったが、より詳しく知ることができた。
- 金属の加工などが面白く感じた。
- 1年生のうちに、このような機会を利用していきたい。
- 都会にあこがれを感じていたが、長崎でもやりがいを感じました。

#### 【企業の感想】

- 通常の企業説明会より気軽に話すことができるいい機会でした。
- よい情報交換の場となりました。
- 本日は貴重な時間を頂き、ありがとうございました。

(会場の風景)



(交流の様子)



## わが校の名物教授！

## 新聞で見つけたトリビア

## わが校の名物教授！

長崎県立大に「長崎の尾木ママ」と呼ばれている先生がいるって知っていますか？その正体は、経営学部の村上則夫教授です、(^o^)

「情報学」「社会システム論」「経営学」などを教えています！「長崎の尾木ママ」と言われる所以は、何と言っても柔和な語り口と表情から(\*^\_^\*)

是非、「長崎の尾木ママ」こと村上先生と、本物の「尾木ママ」を比べに来てください。



## 新聞で見つけたトリビア

## ＜事業を引き継ぐ＞

江戸時代、親の職業を子が継ぐのは当たり前のことだった。商家の長男に生まれれば商家を継ぎ、職人の子は職人だった。跡継ぎがいなければ養子を迎えた。このため家単位で営まれている事業は、商家であれ職人工房であれ、代々継承されて地域の暮らしを支えてきた。だが、現代社会においては、親が営んでいる事業を子が継がないケースは珍しくない。高齢になった経営者の周辺に適当な後継者がいなければ、企業は廃業の道を選択するしかない。そうなれば地域社会は、取引先や雇用の場を失うなどして、少なからぬ影響を受ける。先日の紙面に、雲仙市の老舗温泉宿、雲仙湯元ホテルが冠婚葬祭大手のメモリードに事業を譲渡するという記事が出ていた。後継者不在に直面していた13代目当主が存続のために決断したという。本県では今後の人口減少に伴い、企業数も減少していくことが予想される。そうなれば地域の経済活動が維持できなくなってしまうかもしれない。最近、後継者がいなくても事業を継続する手段が注目されているのは、そのためだろう。地域に長年なじんだのれんは、地域が育ててきた財産の一つでもある。江戸時代から続く伝統の宿は、経営者が代わっても雲仙温泉街に存在し続ける。そのことにほっとする人も多いだろう。

株式会社長崎新聞社 2018/9/6より  
長崎大学地方創生推進本部 事務員

## 長崎純心大学 “いちおし”お食事処

## 長崎よかところ、後輩来たれ！

## 長崎純心大学 “いちおし”お食事処

## &lt;da Nobo&gt;

イタリア・トスカーナ地方の料理が堪能できるお店「da Nobo」を紹介します。お子様連れも多く、私はよく子どもと一緒に「リボッリータ」をいただきます。7~8種類の野菜と豆が使われ、葉野菜は形がなくなるほどじっくり煮込まれています。野菜のおいしさを活かした味付けにチーズとオリーブオイルの香りが引き立つ、何とも食欲をそそる一品です。週末はランチメニューもあります。da Noboで食事をして中島川沿いをお散歩するのもいいかもしれませんね。

住所 長崎市諏訪町5番3号（中島川沿い眼鏡橋付近）

TEL 095-895-9987

フェイスブックあり

紹介者 長崎純心大学 総務課 黒川瞳



## 長崎よかところ、後輩来たれ！

私は、幼い頃から人と関わるのが好きで、人と接する仕事に就きたいと考えていました。

短期大学卒業までに取得した資格を活かしつつ、人と接する仕事を探した時、今の職場を見つけました。職場見学の時から、私の質問に対して丁寧に答えてくれて、就職してからも分からないことがあれば、すぐに手助けしてくれる先輩に囲まれて仕事をしています。毎日、たくさんの患者様が来られ、対応や入力に追われて大変なこともあります。が、「ありがとう」と患者様から言われた時、やりがいを感じます。また、この仕事を始めてから、今まで以上に相手のことを思いやり、丁寧な対応ができるようになったんじゃないかなと思います。

地元就職したからこそ、地元の友人ともよく会うことができ、充実した毎日を送っています。これから就職活動をする皆さんも、自分が仕事面でも私生活でも一番充実できるものに出会えるよう頑張ってください。

長崎短期大学 国際コミュニケーション学科卒業 金納綾香（ひまわり薬局）



### ＜地域活動の体験で単位が取れる＞

長崎大学の全一年生1620名が地域について学ぶ長崎地域学では、8回の講義のいずれも地域活動で代替可能としています。その結果、8月9日の長崎祈念式典に113名、大浦天主堂の見学に148名、26聖人記念館の見学に141名、その他にも、沈黙の映写会、長崎歴史文化博物館の見学、ペーロン体験、斜面地での農業体験等に、延べ712名の学生が地域活動を体験しています。ペーロン体験では、長崎国際大学や長崎県立大学の学生と教職員、さらに留学生も一緒に参加し、長崎の美しい大村湾を大いに満喫しています。ペーロン体験に参加したメンバーの有志は、時津と長与で開催されたペーロン大会に参加しています。何と時津大会では10チーム中6位でした。

長崎大学地方創生推進本部

COC+推進コーディネーター 石松隆和

